

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 青野 正 (鈴木 敏亮)	内線	3931 (3946)
------	---------------------	---------------------	--------------------	----	----------------

事業種目	中山間地域振興対策	事業名	事業区間	総事業費	約3億円
		新山村振興等農林漁業特別対策事業	日高地区	内地地補償費	—

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
城崎郡日高町殿、羽尻			H16	H16	H19

事業目的	事業内容
中山間地域の特性を踏まえつつ、地域農業の振興や都市との交流、定住条件の整備を総合的に振興することにより、活力ある地域づくりを推進する。特に本地区は、地域の個性を生かした農業振興と都市との交流に重点を置いた地域振興施策を展開する。 事業主体：日高町	農林水産物直売・食材供給施設 1棟 250m <sup>2</sup> (国50% 県8% 町42%) 地域資源活用総合交流促進施設 遊歩道 L=2,600m 親水広場 A=2,500m <sup>2</sup> 食材供給棟ほか (国50% 県4% 町46%)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当該地区は米を中心とした農業が基幹産業となっているが、新たな特産品の育成は急務になっている。この地区では以前からそばの生産を試みていたが、これを供給する施設を整備することによって、そばの生産拡大、交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげることが必要である。</p> <p>地元でとれた産物を中心とした食材を提供する施設を整備し、新規雇用の場の創出や農産物生産意欲の向上を図る。</p> <p>また、日高町新総合計画の中で自然資源の恵みを楽しむ森林渓谷レクリエーションゾーンと位置付けた基盤づくりをめざし、地区内にあるオートキャンプ場を自然と人が共生する拠点施設として農林業との連携を図っている。</p> <p>このキャンプ場と連携し、自然にふれあい、知的・精神安定・癒しといった「静」をめざした森林交流空間の整備として、遊歩道の整備、親水広場整備、食材供給棟等を地域資源を活用して設増強整備し、交流人口の増加を図る。</p> <p>これらの取り組みは地域農業の振興、交流人口の増加等につながるとともに、地域の活性化が期待できるので、支援することが必要である。</p>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施により下記の効果が期待できる。</li> <li>新たな雇用創出。(3名雇用) そば作付面積増加による耕作放棄地の解消。交流人口の増加。(年間5,200人増加)</li> <li>費用便益費B/C=1.30</li> <li>用地等地元の協力体制も整っている。</li> </ul>
(3)環境適合性	<p>資源の有効利用と循環を図るため、事業で実施する施設については、間伐材等の木材を用い、緑化に努めるとともに、景観等へも配慮する。</p>
(4)優先性	<p>日高町と村岡町を直接結ぶ国道482号蘇武トンネル(延長3,692m)が、平成15年11月8日に開通し、より効率的な周遊ルートによる交流人口の増加が見込まれる。</p> <p>平成18年にはひょうご国体を実施され、日高ドームが会場となっており、同年には北近畿自動車道が延伸される。</p> <p>また、同地区と神鍋地区を結ぶ林道名色羽尻線がH15年に開通する。</p> <p>この機会に日高町の知名度を上げるためH16年からの事業実施が必要である。</p>